

河合町バリアフリー基本構想策定協議会 会議録要旨

会 議 名	河合町バリアフリー基本構想策定協議会（第5回）
開 催 日 時	平成26年3月25日（火）午後2時00分～午後3時10分
開 催 場 所	河合町役場3F 第6会議室

会 議 の 内 容 等

●会長挨拶

●事務局より第1号議案から第4号議案について説明

- ・心のバリアフリー、今後の取組みの方向性、実施すべき特定事業、バリアフリー基本構想（案）について説明を行った。

●議長

- ・第1号議案について諮問  
→異議無く、全会一致で承認

●議長

- ・第2号議案について諮問  
→異議無く、全会一致で承認

●議長

- ・第3号議案について諮問

委 員：道路特定事業の中で整備目標時期が長期となっているものが増えていっている。様々な調整した結果であると思われるが、用地買収が必要な場合においては長期化することが想定されるが、側溝対策などの小規模な対策実施も想定することができる。今後パブリックコメントを実施されるが、他市町村でパブリックコメントを実施した際に長期が多いことについて、ご意見があったと伺っている。その場合の対応についても考えていたほうがよいと思われる。

事務局：パブリックコメントを実施する中で、長期が多いとの意見が出てくると想定している。現段階においては、それぞれの町道の状況について説明させていただくことを想定している。今回対象となる町道の中には街区開発時に整備されたものがあり、歩道と道路をあえて段差があるようにしており、大規模な事業になることが考えられる。また、歩道が設置されていない道路については、限られた道路幅員の中で、歩道空間を確保することが求められる。現段階において膨大になるため、長期になっている。ただ、今後特定事業を進めていく中で対応できるものがあれば、実施したいと考えている。現状においては対策が明確でないため、批判については真摯に受け止める必要がある。

委 員：意見が出された際に、住民に対し丁寧な説明をしていただければと考えている。

委 員：本協議会に出席を求められた際に、はじめに考えた内容としては、鉄道駅にエレベータやエスカルの設置するものであると認識していた。私自身エスカルが設置されている鉄道駅を見学し、体験したことがある。エレベータの設置については、全て長期対応となっており、近鉄へのヒアリングでは、3,000人以上の利用がないと対応が困難であるとの状況があると伺った。平成22年の大輪田駅の利用者数は2,900人となっているが、大輪田駅については、近くに学校があり乗降客数も多いと思われる。この2,900人はいつ測定されたのか。また、一年の平均とのことでしょうか。また、利用者数が3,000人を越えている駅で対応できていない駅が50駅もあり、3,000人未満のところは未対応となっている。ただし、3,000人未満の駅でも対応できない

わけではないと認識している。バリアフリー新法が策定時においては、基準が5,000人以上あり、その時であっても5,000人未満の駅で実施された例があり、自治体、国、事業者が費用を負担し、実施した例がある。河合町と近鉄が協議を重ねることで実施することが考えられる。心のバリアフリーも重要ではあるが、バリアフリー事業すなわちエレベータの設置であるとも考えることも出来る。バリアフリー化において大事な整備が長期になっているが、整備において費用や時間も掛かるが、象徴的な整備が必要である。なにかよい方法は無いのだろうか。実施すべき特定事業については、細かい整備については実施されているが、大事な整備は全て長期になっている。

事務局：近鉄の大輪田駅、佐味田川駅について、近鉄と協議を行っている。例えば、大輪田駅についてはエレベータを設置するスペースがあるのか、佐味田川駅については3基のエレベータが必要となるが、費用がどの程度になるのか、管理方法や事故等の対策方法に関する考え方などについて協議している。また、佐味田川駅については、現在のホームを逆側に移設させる場合などについて、検討していただいている。現在協議を進めているなかで、資料に反映することができていない。事務局としても象徴的な事業があれば実施したいと考えているが、現段階においては資料に掲載させていただいているもののみとなっている。

委員：エレベータ設置については予算が必要となり、大阪の場合は3,000万円の補助していた。3,000万円の補助を考えた場合、それほど費用が掛かるとは思われない。

事務局：一般的な建物であれば、その程度であると認識しているが、鉄道駅でのエレベータ設置であれば、電車に影響がでない時間に工事をする必要があり、その3倍程度となる。今後についても継続的に協議させていただきます。

委員：今後とも協議を進めた中で、状況を説明させていただきたいと考えている。乗降人員についてですが、平成22年の大輪田駅については2,922名であったが、平成24年の調査では2,428名であった。

→異議無く、全会一致で承認

#### ●議長

- ・第4号議案について諮問

→異議無く、全会一致で承認

#### ●事務局より第5号議案について説明

- ・パブリックコメントについて説明を行った。

#### ●議長

- ・第5号議案について諮問

→異議無く、全会一致で承認

#### ●事務局より第6号議案について説明

- ・協議会委員の再任について説明を行った。

#### ●議長

- ・第6号議案について諮問

→異議無く、全会一致で承認